

46. 神奈川県小田原市の歴史的資源を活用した観光まちづくり支援

(神奈川県小田原市)

タイトル	神奈川県小田原市の歴史的資源を活用した観光まちづくり支援
銀行名	横浜銀行
取組みに至った経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原市は、「おだわらTRYプラン（第5次小田原市総合計画）後期基本計画」に基づき、2017年より、歴史的な建造物の価値を見直す取り組みや、小田原固有の歴史的風致を「点」から「面」へ展開することで、「歴史都市」としてのまちづくりの推進を行っている。 ・「小田原の歴史・自然・文化・産業・食」を感じてもらい、地域の回遊性や消費促進の拠点として、小田原城や地元名産の蒲鉾店が軒を連ねるかまぼこ通りなど、多くの歴史的建造物や街並みがある旧東海道沿いの遊休不動産においてリノベーションを行い、2021年3月、「箱根口ガレージ報徳広場」を開業した。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「箱根口ガレージ報徳広場」は、報徳仕法(株)（二宮尊徳をまつる報徳二宮神社の関連会社）により、地産地消の観光施設として運営されており、観光収入を原資として、新たな交流の場を地域住民に提供している。地域食堂やランドリー、生活必需品の配送シェアサービスなどの地域住民向けのサービスを展開し、地域コミュニティを形成する拠点としての役割を果たしている。 ・当行は、報徳仕法(株)に対し、事業運営等のアドバイスや広報協力、当行グループ会社によるリース物件の紹介など、様々な支援を実施した。融資と併せて地域経済循環創造事業交付金の申請を小田原市とともにサポートし、当行が出資する地域経済活性化支援機構の「観光遺産産業化ファンド」を通じた投資を行った。 
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住への取り込みのため、市外在住の人々にも小田原市への関心を持ってもらえるよう、歴史的資源を活かした魅力あるまちづくりへの継続した取り組みが必要。
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜銀行が出資する「観光遺産産業化ファンド」による投資案件について～小田原市の歴史的資源を活用した観光活性化に向けた取り組み～ https://ssl4.eir-parts.net/doc/7186/ir_material35/167446/00.pdf ・小田原市「おだわらTRYプラン（第5次小田原市総合計画）後期基本計画」 https://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/vision/5th/ ・報徳仕法株式会社「箱根口ガレージ報徳広場」 https://www.hotoku.co.jp/hakone-guchi-garage/